

岐阜JCはどのようにして生まれたのか？

1945年、戦争で廃墟となったぎふのまち。人々は、焼け跡の整理、食料の確保に奔走し、占領下経済の混乱の中で、再起復興に懸命な努力を重ねました。このような社会背景の中で、「今後の経済問題についてお互いに研究し合おう」という若手経済人により1950年に「経友会」という会が結成されました。

1949年の東京青年会議所発足を始め、各地で青年会議所設立の機運が高まりつつあったこと、また財界名士の方々から設立を勧められたことを踏まえ、経友会が母体となり、名古屋青年会議所にスポンサーをお願いし、1951年6月24日、全国で21番目の青年会議所として会員43名で発足しました。

その後、着実に地元の青年経済人の間で根付き、2026年度で75周年を迎えました。昨今のコロナ禍でも活動の歩みを止めることなく、オンライン対応に変化させたり、活動の機敏性を高めるために公益社団法人から一般社団法人へと法人格を移したりと、持っている資質や資源を把握し時代に合わせて変化しながらも組織の理念を大切に活動を継続してきました。これからも脈々と引き継がれてきた伝統を守りながら、志を持つ人々が集うまちの実現を目指して活動に邁進してまいります。



岐阜JCが目指す理想の未来像とは？

岐阜JCは、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、数年ごとにまちづくり運動ビジョンを作成し、「ひとづくり・まちづくり」運動に取り組んでいます。

私たちは、次のような目指すべきまちの未来像と、運動方針を掲げ、活動を展開していきます。

人口減少が進む現代において、地方都市であるぎふのまちが地域の活力を失うことなく持続発展していくまちとなるために、地域の課題解決と次代を担う若者の積極的な参画が必要です。若者の積極的なまちづくり活動によって、行政だけでなく各種団体・コミュニティ・企業・市民を巻き込み、そこから生まれる個性的な発想や魅力的な取り組みによって、多くの市民が身近な課題に気付き、自らが地域課題を解決するためのムーヴメントを起こしていきます。そして、ぎふのまちは若者を中心に市民が理想の未来を語り合い、夢や希望を叶えるための先進的な試みに心を躍らせ、国内外のひとが面白さと可能性を求めて集まるまちとなるのです。

2020



まちづくり運動ビジョンを策定
3つの運動方針を定める

- ①若者の力の発揮
- ②多様なひととの繋がり
- ③居心地の良い土壌づくり

2021

若者による40案のまちづくり政策が誕生する



2022

40案から10案の政策に絞り検証実験を実施する



2023

検証実験の結果を踏まえ政策を社会実装する



2024

40案の政策を基にぎふの魅力を高める事業を実施する



2025

まちの消費活動への影響を調べ来街者の回遊を生む仕組み構築に繋げる



青年会議所とは？

青年会議所(JC=Junior Chamber)は「明るい豊かな社会」の実現を理想として運動する20歳から40歳までの青年経済人の団体であり、地域(都市または市町村)ごとに組織されています。それぞれの青年会議所、そしてメンバーは、1年の任期の中で様々な役割を担い、まちの活性化・発展のために事業を展開しています。

個人の運動が地域や世界に繋がります(2025年調べ)

岐阜 Gifu 17団体 約530人 東海 Tokai 80団体 約3,400人 日本 Japan 666団体 約25,000人 国際 International 127の国と地域 約148,000人

※規模感を伝える目的で記載しており団体の正式名称は割愛しています。

岐阜JCとはどういう団体なのか？

岐阜JC(一般社団法人 岐阜青年会議所)は、岐阜市を中心とした地域において「明るい豊かな社会」の実現を目指し、「ひとづくり・まちづくり」運動を展開する青年経済人の団体です。私たちは「明るい豊かな社会」の実現に向けて、歩むべき道筋を、まちづくり運動ビジョンとして策定し、活力溢れ、持続可能なまちの賑わいを創出します。

また、「社会への奉仕」を行う中で、様々な活動を通じて「個人の修練」の機会や「世界との友情」を得られ、さらなる活動の力としています。私たちメンバーは、皆この「JC三信条」を活動の基本におき、次世代を担う責任を持って主体的に活動を行っています。

岐阜JCは、これからも明るい豊かな社会の実現に向けて、ぎふのまちに必要なとされ続ける団体として、多くの市民が共感することのできる事業を展開していきます。



岐阜JCでは一緒に活動する青年経済人を募集しています！

青年会議所は20歳から40歳までで構成されている青年経済人団体です。活動においては「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の3つの方針のもと、自身の成長とまちへの社会貢献を目的としています。活動中での出会いや学びは、自身を成長させ、「志」を持った強いリーダーになるきっかけとなります。岐阜青年会議所では、一緒に活動する青年経済人を募集しています。興味を持った方は是非お気軽にお問い合わせください。



※2025年度またはそれ以前の事業写真を使用しています。

JCI Junior Chamber International Gifu
Gifu 一般社団法人 岐阜青年会議所

〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所内
TEL:058-264-8091 10:00~12:00/13:00~17:00(土日祝日除く)
FAX:058-264-0444
URL:https://www.gifujc.or.jp E-mail:info@gifujc.or.jp
2-2 Kanda-Machi Gifu-City Gifu-Pref.,JAPAN 500-8833



岐阜JC HP



/gifujc



岐阜JC



@gifu_jc



gifu_jc



gifu_jc

TO THE FUTURE 2026



TO THE FUTURE 2026
デジタル版

スマートフォン・タブレット等でご確認いただけます。私たちの活動にご支援ご協力いただける方は配布にもご活用いただけます。

JCI Junior Chamber International Gifu
Gifu 一般社団法人 岐阜青年会議所

志を持つ人々が集うまちを目指して 自分を知り、未来への一歩を踏み出そう！

ごあいさつ



第75代理事長 吉田 和也

一般社団法人岐阜青年会議所は1951年の創立以来、岐阜市を中心とする地域において、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、「ひとづくり・まちづくり」運動を展開してきました。青少年の健全育成、地域をけん引する人材育成、賑わいを生み出す事業や政策提言など、多岐に亘る活動を通じて、ぎふのまちの発展に寄与する活動を展開しています。

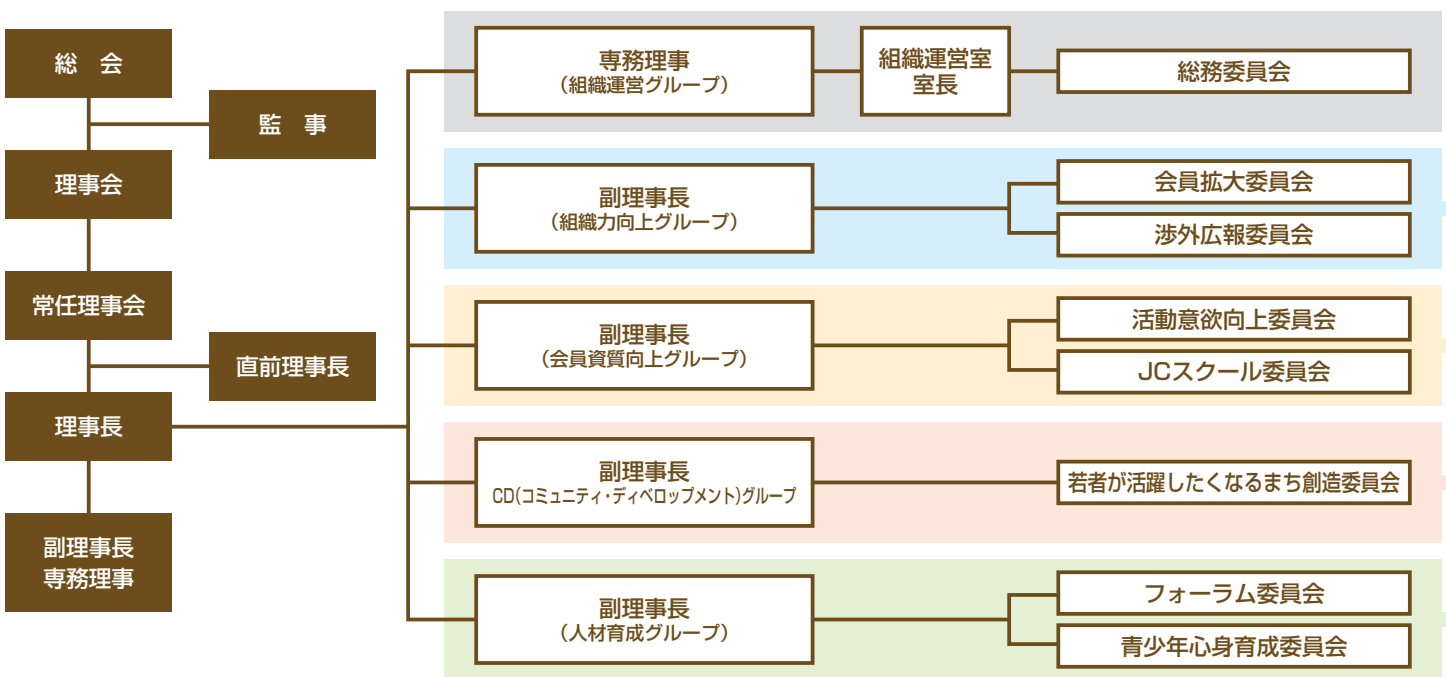
近年、社会全体の不確実性が高まる中、岐阜のまちも人口減少や若者の流出など、将来に大きく影響する課題に直面しています。従来の枠組みだけでは持続的発展が難しくなりつつある現状を踏まえ、2026年度は、「自己理解を深め一歩踏み出し、ぎふのまちの明るい未来のために高い志を持つ」とを所信として掲げました。若者が自ら地域の未来を描き、積極的に行動を起こせる環境づくりを進めることで、新たな価値を創出し、まちの可能性を広げてまいります。

本年度は、若者が主体的に挑戦し、自信を育むための自己理解の機会を重視し、柔軟な発想や新しい仕組みを取り入れることで、ぎふのまちが時代の変化に合わせて発展し続けられる体制を整えていきます。「このまちで活躍したい」と感じられる魅力を高め、地域への愛着を育み、若者が将来に希望を有するまちづくりを推進してまいります。

また、岐阜JCはこれまで、多様な仲間と切磋琢磨しながら成長を重ねています。今後も幅広い青年を迎え入れ、組織力をさらに高めると共に、活動を通じて得た学びを地域社会に還元し、ぎふのまちの未来に力強く貢献してまいります。

創立75年を迎える本年まで、永きに亘り活動を続けてこられたのも、行政並びに各種団体の皆様、市民の皆様そして先輩諸兄姉のご理解とご協力の賜物です。地域の皆様に支えられ活動させていただいていることに感謝し、志ある青年が集い、互いに学び合い成長し、自覚と責任を持って「明るい豊かな社会」の実現に向けて邁進していく所存です。これまでの温かいご支援に深く感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 岐阜青年会議所2026年度組織図 正会員/147名 特別会員/1名(2026年1月現在)



2026年度主な事業(予定)・・・表内の数字は上記事業の番号と対応しています

	1月	2月	3月	4月
市民参加型事業		●若者が活躍したくなるまち実行委員会(仮称)	⑧まちづくり例会 (3月例会) 3/15(日)	⑥JCスクール事業(4月例会) 4/4(土)
メンバー向け事業	①新年賀詞交歓会 (定時総会・1月例会) 1/13(火) ●京都会議(京都) 1/22(木)~25(日)	●岐阜会議(岐阜) 2/7(土) ④啓発例会(2月例会) 2/18(水) ●伊勢一泊研修・正副理事長と語る会 2/14(土)~15(日)		


組織力向上グループ

基本方針 志を育む組織をつくり、組織の力を最大化しよう

岐阜JCは、ぎふのまちやひとのために活動する団体です。私たちがまちやひとのために行動し、多くのひとを惹きつける魅力ある団体でなければなりません。そのために、多くの仲間を増やします。多くの仲間を迎え入れることは、組織に新たな刺激を与え、より大きな成果を残すための原動力となります。加えて、多くの学びがあるJC活動において、メンバー同士が切磋琢磨できる環境を整えると共に、岐阜JCの存在感を確固なものにできるように多くのひとに私たちの活動を広めていきます。


①賀詞交歓会(1月)

日頃よりご支援ご協力をいただいている行政並びに各種団体の皆様、市民の皆様、そして先輩諸兄姉に感謝の思いを伝え、共に新年を祝います。また、本年度の理事長所信や私たちの組織体制、活動内容を知っていただく機会とすることで、活動へのより深いご理解と共感に繋がります。




②報告例会(9月)

委員会や日本青年会議所、東海地区協議会、岐阜ブロック協議会の各出向先で得た学びや成果をメンバーに共有し、今後の新たな挑戦へ踏み出すきっかけとなる場とします。得た学びや成果を、メンバー一人ひとりの成長へと繋げることで、岐阜青年会議所の組織力をさらに高めていきます。



③諸会議(通年)

諸会議を運営するJCI、日本青年会議所、東海地区協議会、岐阜ブロック協議会は、より広域的な目線で事業を展開しています。諸会議に参加することで新たな学びや気付きを得て、日々の活動における視野をさらに広げると共にメンバーの前向きな行動へと繋げ、運動の成果を最大化します。



会員資質向上グループ

基本方針 理念の共感と自己理解から、会員としての意欲を向上しよう

岐阜JCは、ぎふのまちの発展に資する活動を通じて、メンバーへ様々な成長の場を提供しています。私たちは、時代背景の変化を問わず、ぎふのまちの発展を担う存在として、未来を切り拓く意志を持たねばなりません。近年の会員数減少に歯止めが掛かり、新たな仲間を多数迎えた今、さらなる挑戦への機運が高まっています。まさに、一歩踏み出す好機です。変化の兆しを逃さず、内に秘めた意欲を行動に繋げることで、資質を高め、周囲に明るい未来をもたらすきっかけとしましょう。


④啓発例会(2月)

青年会議所活動を通じて仲間と共に成長していく姿を強く描き、青年会議所をどのように活かし、どう関わっていくのかを考える機会とします。活動意欲の変化とその要因を探ることで、メンバー自身の内に秘めた活動意欲を引き出し、前向きな行動に繋げていくきっかけとします。



⑤JCスクール事業(4月)

入会1年目のスクール生が岐阜JCの歴史や伝統を誇りに思い、JC三信条であるトレーニング・サービス・フレンドシップに基づき、事業を実施します。岐阜JCが一丸となり行動することで、ぎふのまちにさらなる賑わいを創出すると共に、組織の一体感をより一層強固にします。



⑥活動意欲向上例会(7月)

メンバー自身が青年会議所で何をしたいのか、誰に貢献したいのかを考える機会をつくり、自身の思いを整理し、目標を明確にした上で、今後の活動意欲向上に繋がります。2月例会、7月例会を通じてメンバーが得た成果を共有し、ぎふのまちや社業、家庭へと還元するきっかけとします。




コミュニティ・ディベロップメントグループ

基本方針 まちのために一歩踏み出し、若者が志を抱くことができる理想のまちの実現へ

若者が主体となってまちづくりを行う機会を創出し、同世代の関心や共感を呼び、次代のまちづくりを担う若者の参画を広げます。若者には、多様な団体を取り込む活動や思いに触れ、地域における自身の役割や可能性の理解を深めたいと、若者自身の手で新たな賑わいを創出する事業を企画・実践していただきます。ぎふのまちで活躍する自身の姿を思い描き、それを実現するために行動することで、地域に新たな魅力を生み出す次代の担い手となっていただき、持続可能なまちの実現に繋がっていきます。


⑦実行委員会(2月)

まちづくりに興味・関心を持つ若者を中心に実行委員会を組成し、若者ならではの視点や発想を活かした企画により、賑わいを生み出す環境を整えます。こうした主体的な取り組みを通じて、多くの同世代の若者を巻き込み、まちづくりに向けた前向きな行動を促すことを目指します。




⑧まちづくり例会(3月)

実行委員会の若者が、ぎふのまちのために活動されている方々の想いや取り組みに直接触れる機会を創出し、まちづくりにおける自身の役割や可能性への理解を深めていただきます。若者が一歩踏み出し、主体的にまちづくりに参画する意欲を育む基盤をつくり、今後の行動へと繋がります。



⑨まちづくり事業(8月)

実行委員会の若者がまちづくり事業を企画・実践し、笑顔や共感が生まれる瞬間を体感します。自らの発想で賑わいを生む経験が、まちへの思いを高め担い手としての意識を育みます。市民の皆様には若者の行動が活力をもたらすことを知り、若者にはまちづくりへの参画意欲を高める機会とします。



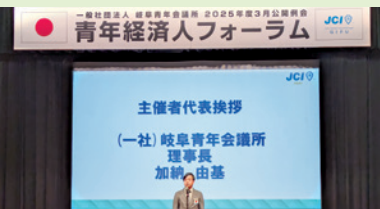
人材育成グループ

基本方針 未来を切り拓いていける志を持った人材になろう

自己理解を深め、目標へ一歩踏み出すことで、志を持つことに繋がれる人材を育成する事業を展開します。青年経済人には、自分の価値観や軸を見つめ直し、強い意志で目標に挑戦し続ける人材となる機会を、市民には、自分の価値観や信念を軸に行動することの重要性に気付く、自信を持って自分らしい人生を歩む人材となる機会を創ります。青少年には、特性や価値観を活かした挑戦で得る成功体験が自信に繋がることを実感してもらい、年齢を重ねても夢や目標を見失わずに歩み続ける機会を創ります。

⑩青年経済人フォーラム(5月)

変化する経済環境を的確に捉えながら、強い使命感を持って行動し続ける講師をお招きします。その背景にある思いや決断の過程、さらには日々の実践に至るまで自分の価値観と重ねて学ぶことで、気付きを深め、自分の強みを理解して行動できる人材へと成長するきっかけとさせていただきます。




⑪青少年心身育成事業(6月)

子どもたちに、自分らしさを活かしながら結果を恐れず挑戦し、大人や仲間たちからの後押しを受けられる場を創出します。子どもたちが挑戦することの大切さを体感し、その経験から得られる気付きや学びを通じて、自分らしく自信を持って次の挑戦へ踏み出すきっかけとさせていただきます。



⑫市民フォーラム(10月)

強みを活かしながら信念を貫いて自分の道を拓いてきた講師をお招きし、フォーラムを開催します。講師の経験や価値観を聞くことで自分の価値観や強みへの理解を深めていただき、信念を持って行動し続けることが、自分らしく豊かな人生を形づくることに繋がると実感できる機会を提供します。



5月	6月	7月	8月
●第42回わんぱく相撲「岐阜場所」 5/10(日) ⑩青年経済人フォーラム(5月例会) 5/15(金)	⑪青少年心身育成事業(6月例会) 6/6(土)	●第75回JCI-ASPAC(新潟) 6/11(木)~14(日)	⑨まちづくり事業(8月例会) 8/9(日)
	●活動意欲向上例会(7月例会) 7/3(金)	●サマーコンファレンス2026(横浜) 7/18(土)~19(日)	

9月	10月	11月	12月
②報告例会(9月臨時総会・9月例会) 9/4(金) ●第67回岐阜ブロック大会2026(中津川) 9/6(日) ●東海コンファレンス2026(松阪) 9/20(日)	●第75回全国大会(神戸) 10/1(木)~4(日) ●新入会員予定者セミナー 10/25(日)	●第81回JCI世界会議(クラーク) 11/11(水)~11/15(日) ●市長例会(11月例会) 11/20(金)	●忘年会(12月臨時総会・12月例会) 12/12(土)